SONY®

2-581-015-**01**(1)

ポータブルICオーディオプレーヤー

Network Walkman

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

NW-E99

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5〜8ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、ほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



➡

❶ 電池を抜く
❷ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災　感電　破裂

行為を禁止する記号



接触禁止　禁止



分解禁止　ぬれ手禁止

目次

この取扱説明書では、ネットワークウォークマン本体と付属のMP3 File Managerソフトウェアの操作について説明しています。付属の SonicStageソフトウェアについては別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。

電波障害自主規制について
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

付属のソフトウェアについて

- □ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- □ 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- □ 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
- □ 本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- □ 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- □ 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。
- □ 以下の理由により、一部の文字や記号がSonicStageまたはMP3 File Manager上で正しく表示されない場合があります。
  - パソコンに接続しているポータブルプレーヤーの性能。
  - パソコンに接続しているポータブルプレーヤーが正常に動作していない。
  - 曲のID3タグの情報が、ポータブルプレーヤーでサポートされていない言語や記号で書かれている。

⚠危険

火災　破裂

発熱、発火、破裂などを避けるため、必ず下記の注意事項をお守りください。

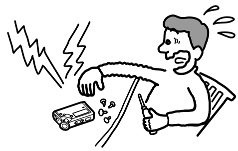
火の中に入れない

禁止

分解しない

感電の原因となります。内部の点検および修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

分解禁止



火のそばや炎天下などで放置しない

禁止

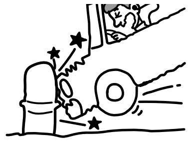
警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと
火災・感電により大けがの
原因となります。

運転中は使用しない

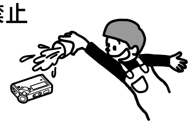
禁止



- 自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

内部に水や異物を入れない

禁止



水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電池を抜き、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。

禁止



はじめからボリュームを上げすぎない

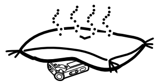
突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、ヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

禁止

本体を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止



電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠危険 乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。

液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告

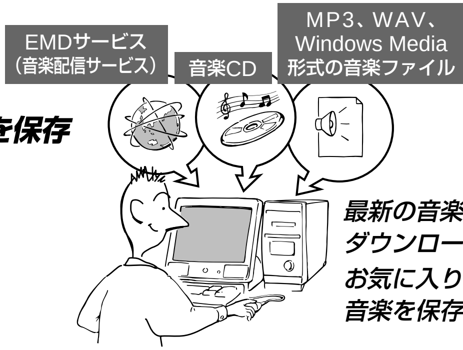
- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。

⚠注意

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

こんなことができます

最初に付属のCD-ROMから「SonicStageソフトウェア」をパソコンにインストールします（MP3 File Managerソフトウェアは、本機をパソコンに接続した状態で、付属のCD-ROMから本機にインストールします）。パソコンのハードディスクに保存した音楽データを本機内蔵のフラッシュメモリーに転送することで、お好みの音楽データを手軽に持ち運んで楽しめます。



1 パソコンに音楽を保存

最新の音楽をダウンロード！お気に入りの音楽を保存！

2 ネットワークウォークマンに転送

MP3形式の音楽データを本機に転送する場合は、MP3 File Managerソフトウェアを使用してください。MP3 File Managerソフトウェアでは、MP3形式の音楽データをそのままの形式で本機に転送できます。



USBで接続

3 音楽を持ち出して聞こう！

> 本機をパソコンに接続しているときは、Windowsのエクスプローラを使って、本機内蔵フラッシュメモリー内のデータを表示することができます。ただし、Windowsのエクスプローラを使って、MP3形式の音楽データをパソコンから本機にコピーしても、その音楽データは本機で再生できません。MP3形式の音楽データを転送する場合は、必ずMP3 File Managerを使用してください。
> （50ページ）



次ページへつづく

本機の主な特長

- 小型軽量サイズで、振動にも強く、優れた携帯性。
- 付属の専用ソフトウェアMP3 File Managerを使って、MP3形式の音楽データをそのままの形式で転送／再生することが可能。
- アルカリ乾電池で約70時間*1の連続再生。
- 512MB + 512MBの内蔵フラッシュメモリーに46時間40分以上*2の音楽データの記録が可能。
- 付属の専用ソフトウェアSonicStageを使って、音楽CDを高音質・高圧縮のATRAC3plus形式でパソコンのハードディスクに録音。
- 外国語の学習にも役立つセンテンスリピート機能。
- パソコンと本体は専用USBケーブルで接続、データを高速転送。
- 漢字も表示できるバックライト付き液晶ディスプレイ。
  パソコンで入力した曲名などを漢字でも表示可能。
- アルバム単位で再生する曲を選べるグループ機能。
- 音楽以外のデータも記録可能なストレージ機能。

*1 再生する曲のデータ形式により異なります。ATRAC3形式で記録された曲を再生した場合。

*2 記録時のビットレートにより異なります。ATRAC3plus形式で48kbpsで記録した場合。

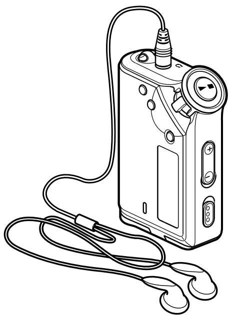
ご注意

- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。

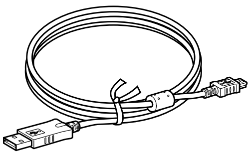
準備1：付属品を確かめる

箱から出したら、付属品がそろっているか確認してください。

- ネットワークウォークマン本体（1）
- ヘッドホン（1）



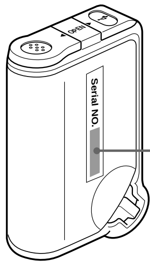
- 専用USB接続ケーブル（1）



- キャリングポーチ（1）
- ネックストラップ（1）
- ヘッドホン延長コード（1）
- 単4形ソニーアルカリ乾電池（1）
- CD-ROM（1）
- 取扱説明書（1）
- ソフトウェアインストール・操作ガイド（1）
- 保証書（1）
- カスタマーご登録のお願い（1）
- ソニーご相談窓口のご案内（1）

シリアルナンバーについて

カスタマー登録の際に本機のシリアルナンバーの入力が必要となります。シリアルナンバーは本体の裏面に印刷されています。



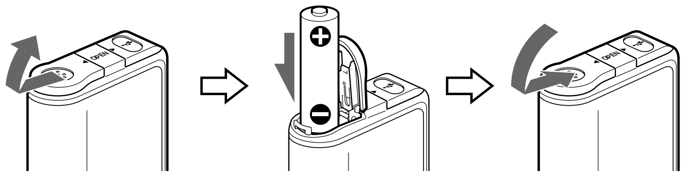
この製品についてお客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談の際、シリアルナンバーが必要になる場合があります。下記に書き留めておきましょう。

シリアルナンバー：

____

準備2：電池を挿入する

付属の単4形ソニーアルカリ乾電池1本を下図のように⊖側から入れてください。



電池の持続時間（連続再生時）※

ATRAC3形式の場合：約70時間
ATRAC3plus形式の場合：約60時間
MP3形式の場合：約50時間
※ 周囲の温度や使用状態により、上記の持続時間は異なる場合があります。

電池残量の表示について

ご使用中、表示窓（14ページ）の電池残量表示でお知らせします。



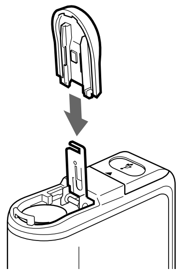
「LOW BATT」と表示された場合は、新しいアルカリ電池に交換してください。

ご注意

指定された種類以外の電池をご使用の場合、液もれの原因になります。次の事項を必ずお守りください。

- アルカリ乾電池をお使いください。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れてください。
- 充電しないでください。
- 長期間使用しないときは、取り外してください。
- 液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。

電池ぶたが外れた場合は、図のように取り付けてください。

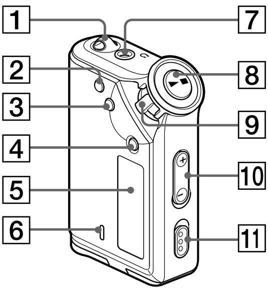


各部のなまえ

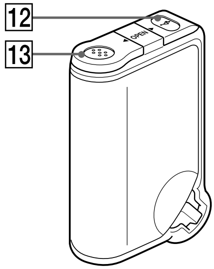
（　）内のページに詳しい説明があります。

本体

表面



裏面



1 **付属ネックストラップ取り付け口**

リピート / サウンド
2 **REPEAT/SOUNDボタン**
（22～24、27ページ）

メニュー
3 **MENUボタン**
（20～22、24～28、30～37ページ）
長押しで時計表示になります。

グループ
4 **GROUPボタン**（20、27ページ）

5 **表示部**（22、43ページ）
表示部の表示窓、アイコンの名前は、14ページをご覧ください。

6 **アクセスランプ**（15、51ページ）

7 **(ヘッドホン)ジャック**（18ページ）

8 **►■(再生／停止)ボタン**
（18、20～21、23～26、28、30～37ページ）

9 **シャトルスイッチ**
（20～21、23～26、28、30～37ページ）

ボリューム
10 **VOLUME+/–ボタン**（18、33ページ）

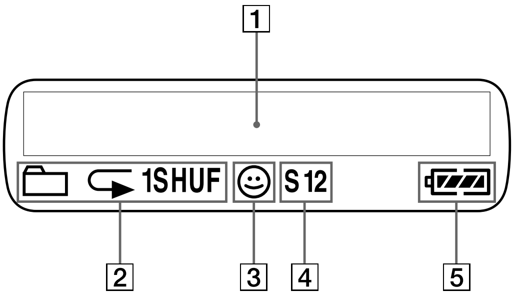
ホールド
11 **HOLD（誤操作防止)スイッチ**
（18、29ページ）

12 **専用USBケーブル接続ジャック**
（16、51ページ）

13 **電池挿入部**（12ページ）

次ページへつづく

表示部



1 **文字情報／グラフィック液晶表示窓**（22ページ）
曲番号やタイトルなどの表示や、時計表示(30～31ページ)、エラー表示（17、43～44ページ)、メニュー表示などを表示します。再生・停止中の表示内容はメニューの「DISPLAY」で切り換えられます。
詳しくは、「表示モードを切り換える」（26ページ）をご覧ください。

2 **リピートモード表示**（21ページ）
現在のリピートモードのアイコンが表示されます。

3 **AVLS（エーブイエルエス）表示**（32ページ）
AVLS（音量リミット)が設定されている場合に表示されます。

4 **デジタルサウンドプリセット表示**（33ページ）
デジタルサウンドプリセットが設定されている場合に表示されます。

5 **電池残量表示**（12ページ）
現在の電池残量が表示されます。

パソコンからネットワークウォークマンに音楽を転送する

ご注意

本機を初めてパソコンに接続するときは
接続前に、必ず付属のCD-ROMから「SonicStageソフトウェア」をパソコンにインストールしてください。すでにSonicStageがインストールされている場合でも、必ず「SonicStageソフトウェア」をインストールしてから本機をパソコンに接続してください。（アップデートプログラムが入っている場合があります。）

ATRAC3plus形式の音楽データは、パソコンにインストールしたSonicStageを使って、本機に転送することができます。詳しくは、下記の手順をご覧ください。
MP3形式の音楽データは、付属の専用ソフトウェアMP3 File Managerを使って、本機に転送することができます。詳しくは、「MP3 File Managerソフトウェアを操作する」（50ページ）をご覧ください。

1 付属のCD-ROMから「SonicStageソフトウェア」をパソコンにインストールする

手順1は、本機を初めてパソコンに接続するときのみ必要です。
詳しくは別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。

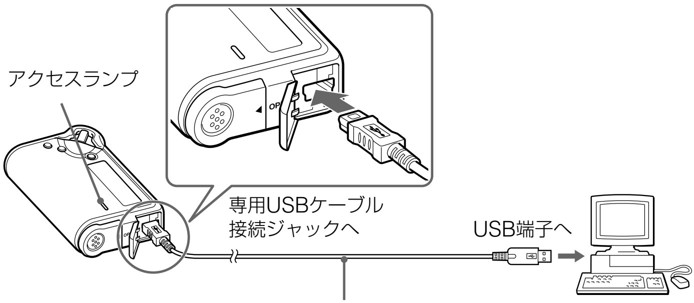
2 SonicStageに音楽データを取り込む

詳しくは別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。

次ページへつづく

3 ネットワークウォークマンをパソコンに接続する

付属の専用USB接続ケーブルの小さいほうのコネクタ部分を本機の専用USBケーブル接続ジャックに、大きいほうのコネクタ部分をパソコンのUSB端子に差し込みます。本機の表示窓に「CONNECT」と表示されます。



ご注意

- 本機とパソコンのデータ転送中はアクセスランプが点滅します。
- アクセスランプの点滅中はUSBケーブルを抜かないでください。転送中のデータが破壊されることがあります。
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしかねます。必ず、付属の専用USB接続ケーブルで接続してください。
- 同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- パソコンに接続しているときは、本体の操作はできません。
- パソコンに接続しているときは、内蔵フラッシュメモリーの内容がWindowsのエクスプローラでも表示できます。

4 ネットワークウォークマンに音楽データを転送する

本体内蔵フラッシュメモリーに音楽データを転送するときの操作方法は、別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。

ヒント

- 本機にはフラッシュメモリーが2つ内蔵されているため、音楽データを転送するときに、転送先の内蔵フラッシュメモリーを選ぶことができます。転送先の内蔵フラッシュメモリーは、SonicStageの画面上で以下のように表示されます。
  －Network Walkman (#1 Internal)：内蔵フラッシュメモリー1
  －Network Walkman (#2 Internal)：内蔵フラッシュメモリー2
- 転送した音楽データをパソコンに戻す方法についても、別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」もしくはSonicStageのオンラインヘルプをご覧ください。

再生期限付きの曲（タイムアウトコンテンツ）の再生について

インターネットの音楽配信サービス（EMDサービス）には、再生期限がついているものがあります。
期限切れ後にその曲を再生しようとすると、「EXPIRED」が点滅し、しばらくすると次の曲が再生されます。
再生期限が過ぎた曲は、SonicStage上でも再生はできません。また、本機への転送もできません。必要に応じて曲を削除してください。

回数制限付きの曲の再生について

本機は回数制限付きコンテンツに対応しておりません。
回数制限の権利が残っていた場合でも、「EXPIRED」が点滅し、本機での再生はできません。

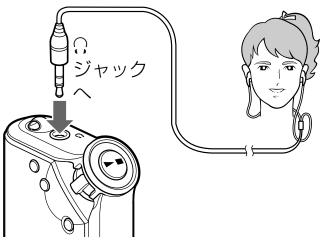
ネットワークウォークマンで音楽を聞く

あらかじめ本機に電池を入れておいてください（使用できる電池や挿入方法については12ページをご覧ください）。そして、音楽データを本機の内蔵フラッシュメモリーに転送しておきます。

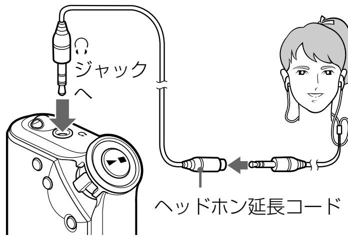
ご注意

ネットワークウォークマンを操作するときは、パソコンとの接続をはずしてください。

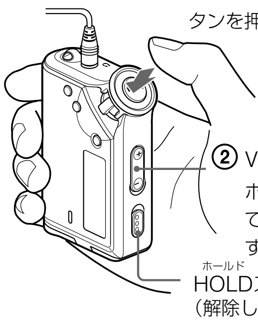
1 ヘッドホンを装着する



ヘッドホン延長コードご使用の場合



2 再生する



ヒント

停止状態のまま5秒間操作がないと、自動的に表示が消えます。

通常再生のときは、最後まで再生すると自動的に停止します。

再生が始まらないときは

HOLD（ホールド）（誤操作防止）スイッチが解除されているのを確認してください。（29ページ）

再生を途中で止めるには

►■（再生／停止）ボタンを押します。

音量を調節するには

音量はプリセットとマニュアルで調整できます。（33～34ページ）

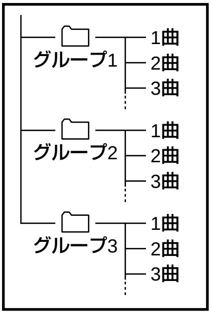
曲（グループ）の再生順序について

本機に転送した曲（グループ）の再生順は、以下のようになります。

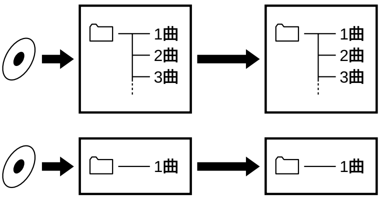
SonicStageソフトウェアで転送した内蔵フラッシュメモリー1の曲（グループ）→ MP3 File Managerソフトウェアで転送した内蔵フラッシュメモリー1の曲（グループ）→ SonicStageソフトウェアで転送した内蔵フラッシュメモリー2の曲（グループ）→ MP3 File Managerソフトウェアで転送した内蔵フラッシュメモリー2の曲（グループ）

グループ機能とは

グループ機能とは、ネットワークウォークマンで、聞きたい曲を素早く見つけるための機能です。転送される曲を、CDアルバム別や、アーティスト別などのグループにまとめて転送したり再生したりできます。



- 再生時の曲番は、グループ内での曲番が表示されます。
- GROUPボタンを押すと、曲名モードからグループモードの切り換えができます。
- グループモードでは、曲名ではなくグループ名が表示され、曲送りや曲のリピートなどの単位もグループ単位で送られます。



グループ単位での転送

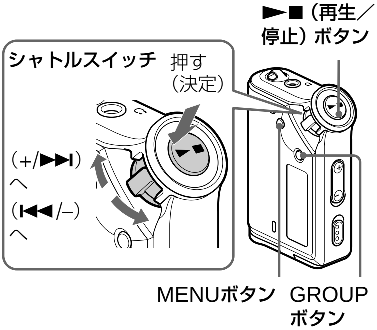
SonicStageに取り込んだ音楽データは、1曲でも必ずグループをつくって、ネットワークウォークマンの内蔵フラッシュメモリーに転送されます。

ヒント

SonicStageでつくられたグループは、MP3 File Managerでつくられたグループよりも先に表示されます。

次ページへつづく

その他の操作



ヒント
GROUPボタンを押すとグループモードに入れます。

こんなときは	シャトルスイッチ操作
次の曲の頭出し、または次のグループの最初の曲の頭出し*1	（+/►►I）へ1回短く回す
再生中の曲の頭出し、または再生中のグループの最初の曲の頭出し*1	（I◄◄/–）へ1回短く回す
早送り*2	（+/►►I）へ回し、止めたい場所で手をはなす
早戻し*2	（I◄◄/–）へ回し、止めたい場所で手をはなす

*1 停止中にシャトルスイッチを+/►►I（I◄◄/–）へ回した状態にしておくと、次の曲またはグループ（現在の曲またはグループ）、さらに次の曲またはグループ（前の曲またはグループ）を連続して頭出しできます。

*2 早送り／早戻しを開始してから5秒経過すると、早送り／早戻しの速度がより高速になります。

リピートモード

トラックリピート、A-Bリピート、センテンスリピートの3通りのリピートモードがあります。

- **トラックリピート（TRK Rep）**
  曲を下記の5通りのリピートモードで再生できます。

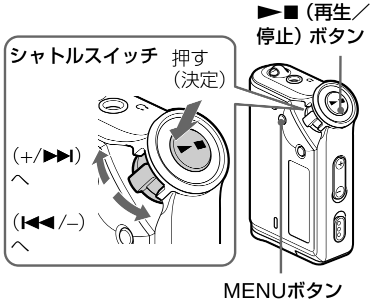
トラックリピートモード	動作
全曲リピート*1	すべての曲が繰り返して再生されます。
1曲リピート	1曲が繰り返して再生されます。
グループリピート	グループ内の曲が繰り返して再生されます。
グループシャッフルリピート	グループ内の曲が順不同に繰り返し再生されます。
全グループシャッフルリピート*2	すべてのグループが順不同に繰り返し再生されます。グループ内の曲は順序どおり再生されます。

- **A-Bリピート（A-B Rep）**
  曲の一部を繰り返して再生します。
- **センテンスリピート（SENTENCE Rep）**
  トラックの指定ポイントのボイスデータ（センテンス）を繰り返して再生します。

*1 全曲のリピート順は以下のようになります。
SonicStageソフトウェアで転送した内蔵フラッシュメモリー1の曲 → MP3 File Managerソフトウェアで転送した内蔵フラッシュメモリー1の曲 → SonicStageソフトウェアで転送した内蔵フラッシュメモリー2の曲 → MP3 File Managerソフトウェアで転送した内蔵フラッシュメモリー2の曲

*2 全グループシャッフルリピートでは、2つの内蔵フラッシュメモリー内のすべてのグループが対象になります。

リピートモードを選択する



1 停止中にMENUボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。



2 シャトルスイッチを回して「REPEAT MODE>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

3 シャトルスイッチを回してお好みのリピートモードを選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。



「TRK Rep」、「A-B Rep」、「SENTENCE Rep」の中からリピートモードを選ぶことができます。

次ページへつづく

進んだ使いかた

4 MENUボタンを押す。

通常の再生画面に戻ります。
各リピートモードについて詳しくは下記をご覧ください。

- TRK Rep:「曲を繰り返し再生する（トラックリピート）」
- A-B Rep:「曲の一部を繰り返し再生する（A-B リピート）」
- SENTENCE Rep:「トラックの指定ポイントのセンテンスを繰り返し再生する（センテンスリピート）」

途中でメニュー操作をやめるには

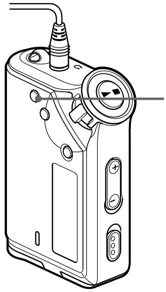
メニュー画面の [RETURN] を選ぶかMENUボタンを押します。

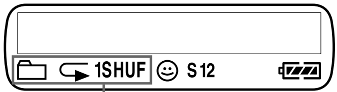
ご注意

- 60秒以上ボタン操作をしないと、通常の再生画面に戻ります。
- 曲が1曲も入っていない場合は、リピートモードの設定はできません。
- 本機をパソコンに接続すると、設定したリピートモードはキャンセルされます。
- 曲の再生中、リピートモードの設定はできません。

曲を繰り返し再生する（トラックリピート）

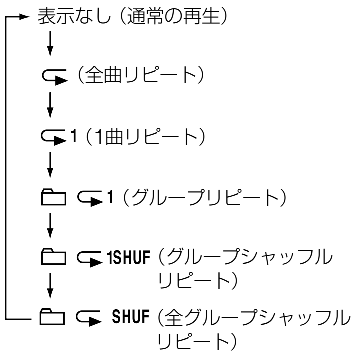
REPEAT/SOUNDボタンを押すとトラックリピートモードの種類が切り換わります。表示窓に現在選択しているトラックリピートモードのアイコンが表示されます。





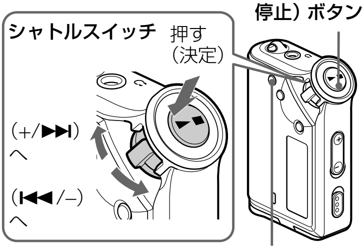
トラックリピートモード（TRK Rep）を選択する。**（21ページ）****次に、REPEAT/SOUNDボタンを繰り返し押し、設定したいリピートモードを選択する。**

ボタンを押すごとに、トラックリピートアイコンが次のように換わります。



曲の一部を繰り返し再生する（A-Bリピート）

曲の再生中、繰り返し再生したい部分（セクション）の開始ポイント（A）と終了ポイント（B）を設定できます。



1 **A-Bリピートモード（A-B Rep）を選択する。****（21ページ）**

2 **►■（再生／停止）ボタンを押して曲を再生する。**

3 **曲の再生中にREPEAT/SOUNDボタンを押して開始ポイント（A）を決定する。**

「B」が点滅します。

```
A B 01   00:00
```

4 **REPEAT/SOUNDボタンを押して終了ポイント（B）を決定する。**

「AB」が表示され、指定した部分（セクション）が繰り返し再生されます。

```
A B 01   00:55
```

ご注意

- 1曲を超える長さのセクションは設定できません。
- 終了ポイント（B）が設定されていない場合は、自動的に曲の最後が終了ポイント（B）になります。
- グループモード、または現在時刻が表示されているときは、A-Bリピートモードは使用できません。

ヒント

- 開始ポイント（A）の設定後、シャトルスイッチを回して、早送りや早戻しをすることができます。早送りで曲の最後まで来ると、曲の終わりが終了ポイント（B）として設定され、早送りが続きます。
シャトルスイッチを離すとA-Bリピートが再開されます。
また、早戻し中に曲の頭まで来ると、曲の最後へ移動し、曲の終わりが終了ポイント（B）として設定され、早戻しが続きます。
- A-Bリピートで再生中にシャトルスイッチを回すと、早送りや早戻しをすることができます。早送りや早戻し中に、曲の頭または最後に来ると再生が停止します（スタンバイ状態）。シャトルスイッチを離すとA-Bリピートが再開されます。

次ページへつづく

リピートモード（つづき）

開始ポイント(A)や終了ポイント(B)を消すには

- A-Bリピート中にREPEAT/SOUNDボタンを押す。
- A-Bリピート中にMENUボタンを押す。
- A-Bリピート中にGROUPボタンを押してグループモードを選ぶ。
- A-Bリピート中にシャトルスイッチを回して次の／前の曲を選ぶ。

（A-Bリピートモードは取り消されません。）

A-Bリピートモードを取り消すには

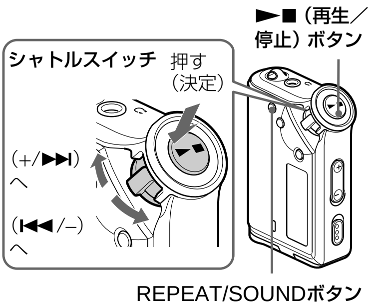
メニューモードに入り、リピートモードを変更します。（21ページ）

トラックの指定ポイントのセンテンスを繰り返し再生する（センテンスリピート）

指定ポイントからボイスデータ（センテンス）のみを自動的に検知し、設定回数を繰り返し再生します。外国語の学習の際に、BGM（背景音）のない語学学習用の教材音源で効果が発揮されます。

ヒント

初期設定では、センテンスごとにリピート回数が2回に設定されています。リピート回数を変更するには、「リピート回数を設定する」（25ページ）をご覧ください。

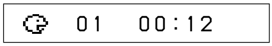


1 センテンスリピートモード（SENTENCE Rep）を選択する。（21ページ）

2 ►■（再生／停止）ボタンを押して曲を再生する。

3 曲の再生中にREPEAT/SOUNDボタンを押して開始ポイントを指定する。

開始ポイントから検索が始まり、ボイスデータ（センテンス）がある部分とボイスデータ（センテンス）がない部分を検知すると、センテンスリピートが開始されます。ボイスデータ（センテンス）は、1回（検知中）＋設定回数ぶん（25ページ）だけ繰り返されます。



ご注意

- グループモード、または現在時刻が表示されているときは、センテンスリピートモードは使用できません。
- ボイスデータ（センテンス）がある部分またはボイスデータ（センテンス）がない部分の長さが1秒以下の場合は、検知されません。
- ボイスデータ（センテンス）がない部分がトラックの最後まで検索されなかった場合、トラックの最後が終了ポイントとみなされて、開始ポイントからトラックの最後までの間でセンテンスリピートが行われます。

指定ポイントを消すには

- センテンスリピート中にREPEAT/SOUNDボタンを押す。
- センテンスリピート中にMENUボタンを押す。
- センテンスリピート中にGROUPボタンを押してグループモードを選ぶ。
- センテンスリピート中にシャトルスイッチを回して次の／前の曲を選ぶ。

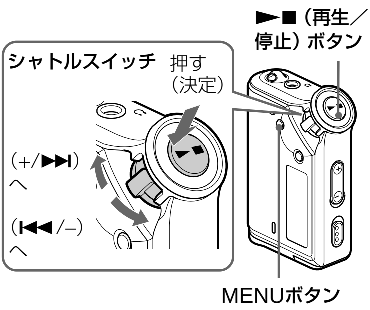
（センテンスリピートモードは取り消されません。）

センテンスリピートモードを取り消すには

メニューモードに入り、リピートモードを変更します。（21ページ）

リピート回数を設定する

センテンスリピートモードのリピート回数は、1～9回まで設定できます。



1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。



2 シャトルスイッチを回して「REPEAT MODE>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

3 シャトルスイッチを回して「SENTENCE Rep」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

「COUNT:」が表示窓に表示されます。



4 シャトルスイッチを回してお好みの回数を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

5 MENUボタンを押す。

通常の再生画面に戻ります。

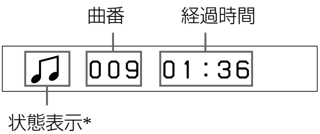
途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の [RETURN] を選ぶかMENUボタンを押します。

表示モードを切り換える

再生中または停止中に表示窓で曲番やタイトルなどの情報を確認できます。表示内容の切り換えは、メニューモードに入り、シャトルスイッチで操作します。

- LapTime：曲時間表示モード
  タイトル、アーティスト名を表示した後、次のように表示します。



* 再生中：♫と♫を交互に表示。
停止中：♫を表示。
連続頭出し中：▶▶I または I◀◀ を表示。
早送り／早戻し中：▶▶ または ◀◀ を表示。

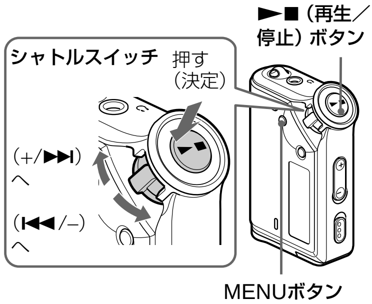
- Title：タイトル表示モード
  タイトルとアーティスト名が表示されます。12文字を超える場合は、スクロールします。

  ♫ Title/Artis

- Track info：トラックインフォメーション表示モード
  タイトル、コーデック、ビットレートが表示されます。12文字を超える場合は、スクロールします。

  ♫ Title/Codec/

早送り／早戻し中および連続頭出し中は現在の位置を表す表示が出ます。



1 MENUボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。

REPEATMODE>

2 シャトルスイッチを回して「DISPLAY>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。
設定されている表示モードが点滅表示されます。

LapTime

3 シャトルスイッチを回してお好みの表示モードを選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。
表示モードメニューに切り換わります。

DISPLAY>

4 MENUボタンを押す。
通常の再生画面に戻ります。

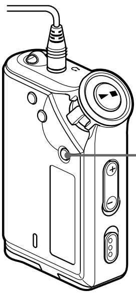
途中でメニュー操作をやめるには
メニュー画面の［RETURN］を選ぶか、MENUボタンを押します。

ご注意

60秒以上ボタン操作をしないと、通常の再生画面に戻ります。

グループ表示を見るには

どの表示モードでも、GROUPボタンを押せば、グループ表示を見ることができます。



グループ表示をやめるには
GROUPボタンを押します。

ご注意

30秒以上ボタン操作をしないと、通常の再生画面に戻ります。

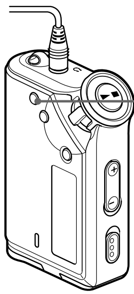
高音や低音を強調する（デジタルサウンドプリセット）

高音や低音を強調してあらかじめお好みの音質を設定できます。2種類の音質設定を記憶させることができ、再生中に設定を選べます。

音質を選ぶ

お買い上げ時の設定

音質	SOUND 1（S1）	SOUND 2（S2）	SOUND OFF（通常の音質）
Bass（低音）	＋1	＋3	±0
Treble（高音）	±0	±0	±0



REPEAT/SOUNDボタンを約0.5秒間押して「S1」または「S2」を選ぶ。

S1 → S2 → 表示なし
（表示なし → S1 に戻る）

通常の音質に戻すには
「SOUND OFF」を選びます。

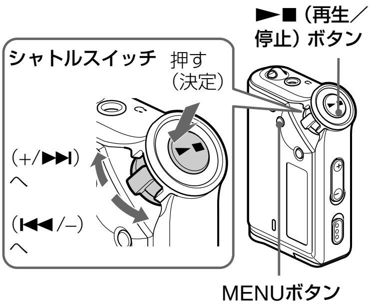
次ページへつづく

音質を変える

Treble（高音）とBass（低音）の2つの音質調整ができます。

音質	数値の設定
Bass（低音）	−4 から+3
Treble（高音）	−4 から+3

「SOUND 1」、「SOUND 2」にお好みの設定を記憶できます。音楽データの再生時に、記憶させた設定で楽しめます。

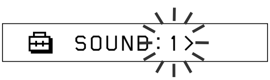


1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。



2 シャトルスイッチを回して「SOUND>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。



3 「SOUND 1」の音質を設定する。

① シャトルスイッチを回して「SOUND 1>」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。
② 「BASS：+1」と表示されたら、シャトルスイッチを回し、Bassの値を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。
③ 「TREBLE：0」と表示されたら、シャトルスイッチを回し、Trebleの値を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

4 MENUボタンを押す。

通常の再生画面に戻ります。

「SOUND 2」の設定を変えるには

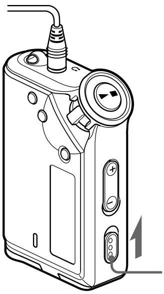
手順3の①で「SOUND 2>」を選びます。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の［RETURN］を選ぶか、MENUボタンを押します。

誤操作を防ぐ（ホールド）

カバンに入れて使うときなどに、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぎます。



HOLDスイッチを◀━ の方向にずらす。

操作ボタンが働かなくなります。
ホールド中に他のボタンを押すと、「HOLD」と点滅表示されます。

ホールドを解除するには

HOLDスイッチを◀━ の逆方向にずらします。

音楽以外の情報を持ち運ぶ

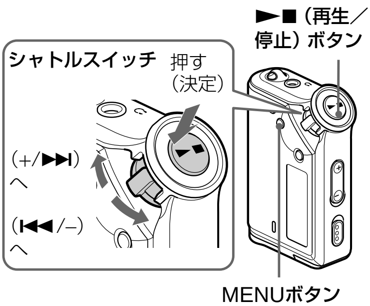
パソコンのハードディスク内のデータをWindowsのエクスプローラを使って、本機内蔵フラッシュメモリーに取り込むことができます。
Windowsのエクスプローラの外部ドライブ（Dドライブなど）として、本機内蔵フラッシュメモリーが表示されます。

ご注意

- 本機内蔵フラッシュメモリー内に音楽以外の大容量データが入っている場合、音楽データを取り込むための空き容量はその分減ります。
- 本機にはフラッシュメモリーが2つ内蔵されています。そのため、本機をパソコンに接続すると、Windowsのエクスプローラ上に2つの外部ドライブとして表示されます。ドライブ文字（アルファベット）の順番が先の外部ドライブが内蔵フラッシュメモリー1、あとの外部ドライブが内蔵フラッシュメモリー2になります。

パソコンの内蔵時計に本体の時計を合わせる

設定を「ON」にしていると、ネットワークウォークマンをパソコンに接続して、データ転送が行われたときにSonicStageからパソコンの内蔵時計に合わせて自動で本機の時計の設定ができます。初期設定は「ON」になっています。
再生期限付きの曲の場合、本機の時計設定をしていないと再生できませんので、必ず現在時刻を設定してください。
ネットワークウォークマン本体で時刻を設定するには「現在時刻を設定する（DATE-TIME）」（31ページ）をご覧ください。



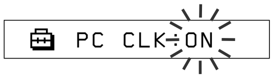
設定を「OFF」にする
パソコンに接続してもパソコンの内蔵時計に合わせないようになります。

1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。



2 シャトルスイッチを回して「PC CLK：」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。



3 シャトルスイッチを回して「OFF」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

4 MENUボタンを押す。

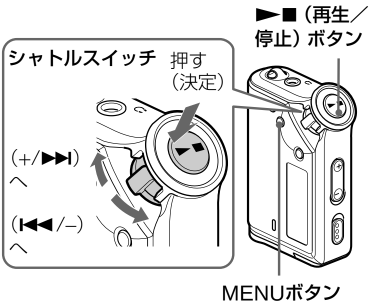
通常の画面に戻ります。

設定を「ON」にするには
手順3で「ON」を選びます。

途中でメニュー操作をやめるには
メニュー画面の［RETURN］を選ぶか、MENUボタンを押します。

現在時刻を設定する（DATE–TIME）

本体の現在時刻を設定し、時計を表示させせることができます。
パソコンに接続して自動でパソコンの時刻情報を本機に設定することもできます。（30ページ）



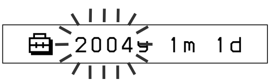
1 **MENUボタンを押す。**

メニュー画面が表示されます。



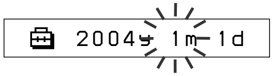
2 **シャトルスイッチを回して「DATE–TIME」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

「年」の数字が点滅します。



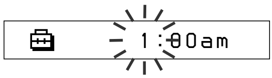
3 **シャトルスイッチを回して「年」の数字を合わせ、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

「月」の数字が点滅します。



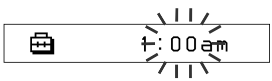
4 **手順3で「年」を入力したのと同様に「月」と「日」の数字を入力する。**

シャトルスイッチを回して「日」を合わせ、►■（再生／停止）ボタンを押して決定すると、時刻設定表示画面に変わります。



5 **シャトルスイッチを回して「時」の数字を合わせ、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

「分」の数字が点滅します。



6 **手順5で「時」を入力したのと同様に「分」を入力する。**

シャトルスイッチを回して「分」を合わせ、►■（再生／停止）ボタンを押して決定します。



7 **MENUボタンを押す。**

通常の画面に戻ります。

次ページへつづく

現在時刻を設定する（DATE–TIME）（つづき）

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の［RETURN］を選ぶか、MENUボタンを押します。

時計を表示させるには

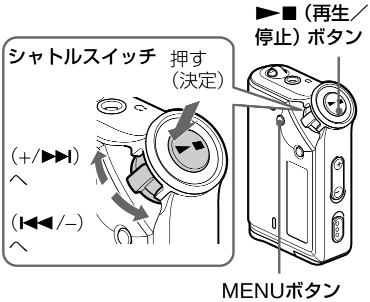
MENUボタンを押し続けます。
押している間だけ現在時刻が表示されます。

ご注意

- 本機を使用しないまま長期間放置すると、設定した日時がリセットされてしまいますのでご注意ください。
- 時刻が設定されていないときは、年月日、時刻とも「-- --」が表示されます。
- PC CLKを「ON」に設定していると（30ページ）パソコン接続時に自動的にパソコンの内蔵時刻に書きかわってしまいます。

音もれを抑える（音量リミット-AVLS）

音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことへの危険を少なくし、より快適な音量で聞くことができます。



1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。



2 シャトルスイッチを回して「AVLS：」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

「OFF」が点滅します。



3 シャトルスイッチを回して「ON」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

表示窓に ☺ が表示されます。この設定により、音量が一定のレベル以上、上がらなくなります。

4 MENUボタンを押す。

通常の画面に戻ります。

設定を「OFF」にするには

手順3で「OFF」を選びます。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の [RETURN] を選ぶかMENUボタンを押します。

お好みの音量を設定する（プリセットボリューム）

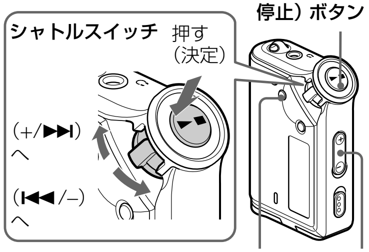
音量調節には2つのモードがあります。

マニュアルモード：

VOLUME+/–ボタンを押すと32段階で連続して音量が変わります。

プリセットモード：

VOLUME+/–ボタンであらかじめ設定しておいたLO、MID、HIの3段階に切り換わります。



プリセットモードの音量を設定する

1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

REPEATMODE>

2 シャトルスイッチを回して「VOL： MAN」を表示させる。

VOL :MAN

次ページへつづく

お好みの音量を設定する（プリセットボリューム）（つづき）

3 **►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

「MAN」が点滅します。

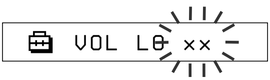
4 **シャトルスイッチを回して「SET>」を表示させる。**



5 **►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

「VOL LO xx」*が点滅します。

* xxは数値



6 **LO、MID、HIの各値を設定する。**

①VOLUME+/–ボタンを押してLOの値を設定する。

②シャトルスイッチを回して「VOL MID xx」を表示させ、VOLUME+/–ボタンを押してMIDの値を設定する。

③シャトルスイッチを回して「VOL HI xx」を表示させ、VOLUME+/–ボタンを押してHIの値を設定する。

7 **►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

8 **MENUボタンを押す。**

通常の画面に戻ります。

この設定によりボリュームがLO、MID、HIの3段階に調節できるようになります。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の［RETURN］を選ぶか、MENUボタンを押します。

ご注意

AVLS（32ページ）が設定されているときは設定した値よりも音量が低くなる場合があります。

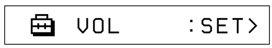
AVLSを解除（OFF）すると設定した値の音量になります。

マニュアルモードに戻すには

1 **MENUボタンを押す。**

メニュー画面が表示されます。

2 **シャトルスイッチを回して「VOL： SET」を表示させる。**



3 **►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

「SET>」が点滅します。

4 **シャトルスイッチを回して「MAN」を表示させる。**



5 **►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。**

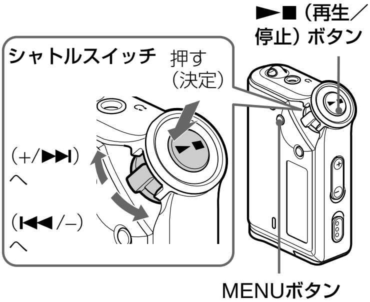
6 **MENUボタンを押す。**

通常の画面に戻ります。

この設定によりVOLUME+/–ボタンによる音量調節ができるようになります。

ピッという確認音を鳴らさないようにする（BEEP）

本体の確認音を消すことができます。



1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。



2 シャトルスイッチを回して「BEEP：」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

「ON」が点滅します。



3 シャトルスイッチを回して「OFF」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。



4 MENUボタンを押す。

通常の画面に戻ります。

確認音が鳴るようにするには

手順3で「ON」を選びます。

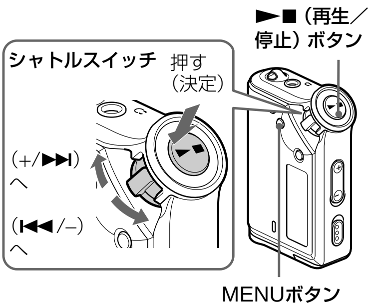
途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の［RETURN］を選ぶか、MENUボタンを押します。

液晶バックライトの点灯のしかたを変える

ONまたはOFFから選べます。

メニュー設定	液晶バックライトの状態
OFF	常に消灯
ON	ボタン操作後、3秒間点灯（またはスクロール終了まで点灯）



設定を「ON」にする

1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。



2 シャトルスイッチを回して「LIGHT：」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

「OFF」が点滅します。



3 シャトルスイッチを回して「ON」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。



4 MENUボタンを押す。

通常の画面に戻ります。

設定を「OFF」にするには

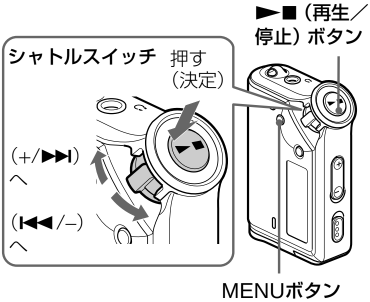
手順3で「LIGHT:OFF」を選びます。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の［RETURN］を選ぶか、MENUボタンを押します。

メモリーを初期化する（FORMAT）

本機で内蔵フラッシュメモリーをフォーマット（初期化）することができます。フォーマットすると、記録されたデータはすべて消去されます。フォーマットする前に内容を確認してください。



1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

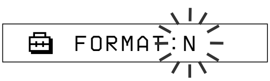


2 シャトルスイッチを回して「FORMAT」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。



再生中はこの機能を選択できません。

3 シャトルスイッチを回して「ドライブ1：1」または「ドライブ2：2」を選び、►■ボタンを押して決定する。



4 シャトルスイッチを回して「Y」を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

「Really ?」と表示されます。

5 ►■（再生／停止）ボタンを押す。

「FORMATTING」が点滅表示され、初期化が始まります。
初期化が終了すると「COMPLETE」と表示され、手順2の画面に戻ります。

6 MENUボタンを押す。

通常の画面に戻ります。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の［RETURN］を選ぶか、MENUボタンを押します。

フォーマット（初期化）するのをやめるには

手順4で「N」を選びます。

ご注意

- 再生中は初期化できません。（メニュー画面に「FORMAT」が表示されません。）
- 初期化を行うと、MP3 File Managerおよび転送済みのMP3形式の音楽データも消去されます。MP3 File Managerを誤って消去してしまった場合は、付属のCD-ROMを使って再インストールすることができます。再インストールの方法について詳しくは、「MP3 File Managerをインストールする」（51ページ）をご覧ください。

使用上のご注意

ご注意

置き場所について

次のような場所には置かないでください。

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く
- 窓を閉めきった自動車内（とくに夏季）
- 風呂場など、湿気が多いところ
- ほこりが多いところ
- 磁石、スピーカーボックス、テレビなど、磁気を帯びたものの近く

ヘッドホンについて

付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターに相談してください。

ご使用について

- ストラップをつけてご使用する場合は、ストラップが引っかかると危険ですので、ご注意ください。
- 飛行機などに乗るときは、ご使用にならないでください。
- ペースメーカーに影響を与える恐れがありますので、ペースメーカーを使用している人の近くで操作しないでください。

お手入れについて

表面のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で拭いた後、からぶきします。

ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布でからぶきしてください。

ご注意

シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面をいためますので、使わないでください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度お調べください。それでも解決しない場合、ご不明な点は、裏表紙に記載のお問い合わせ窓口までお問い合わせください。パソコンとの接続については、付属ソフトウェアのオンラインヘルプもご覧ください。

リセットするには

下記のチェックをしても正常に動作しないとき、音が出ないときは、本体の電池を取り外して、再度挿入してください。

こんなときは

本体の操作について

症状	原因／処置
再生音が出ない 雑音が入る	● 音量がゼロになっている → 音量を上げてください。（18ページ） ● ヘッドホンがしっかり差し込まれていない → （ヘッドホン）ジャックにしっかり差し込んでください。（18ページ） ● ヘッドホンのプラグが汚れている → 乾いた布でプラグの汚れをふきとってください。 ● 再生期限のついた曲を再生している → 再生期限の切れた曲は、再生できません。（17ページ） ● 曲が入っていない →「NO DATA」と表示されているときは、パソコンから音楽データを転送してください。
ボタン操作に反応しない	● HOLDスイッチがONになっている → HOLDスイッチをOFFにしてください。（29ページ） ● 結露している → そのまま約2、3時間おいてください。 ● 電池の残量が少ない → 電池を交換してください。（12ページ）
再生音が大きくならない	AVLSが設定されている → AVLS設定を解除してください。（32ページ）
右チャンネルから音が出ない	● ヘッドホンが正しく差し込まれていない → ヘッドホンプラグを奥まで差し込んでください。（18ページ）

次ページへつづく

症状	原因／処置
右チャンネルから音が出ない	• ヘッドホン延長コードがネットワークウォークマンのΩ（ヘッドホン）ジャックまたはヘッドホンコードに正しく接続されていない。 → ヘッドホン延長コードをネットワークウォークマンのΩ（ヘッドホン）ジャックまたはヘッドホンコードにしっかり差し込んでください。（18ページ）
再生していたら急に音が止まった	電池が消耗している → 電池を交換してください。（12ページ）

表示窓について

症状	原因／処置
表示窓のバックライトがつかない	LIGHTが「OFF」の設定になっている → メニューで「LIGHT」を「ON」に設定してください。（36ページ）
タイトル欄に「□」と表示される	本機で表示できない文字が使用されている → 付属のSonicStageソフトウェアを使って本機で表示可能な別の文字に置き換えてください。

パソコンとの接続や付属ソフトウェアについて

症状	原因／処置
インストールできない	対応のOS以外のOSを使っている → 詳しくは 別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。
専用USB接続ケーブルでパソコンにつないでも、本機の表示窓に「CONNECT」と表示されない	• SonicStageの認証を行うために、時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。 • パソコン上で他のアプリケーションが起動している → しばらくしてから、専用USB接続ケーブルを接続し直してください。それでも解決しない場合は、ケーブルを抜いてからパソコンを再起動してください。 • 専用USB接続ケーブルが抜けている → 専用USB接続ケーブルを差し直してください。 • USBハブを使用している → 動作の保証外です。パソコンのUSB端子に接続してください。

症状	原因／処置
パソコンに接続したとき、ネットワークウォークマンがパソコンに認識されない	• 専用USB接続ケーブルが抜けている → 専用USB接続ケーブルを差し直してください。 • 本機用のドライバをインストールしていない → 本機用のドライバをインストールしてください。本機用のドライバは付属のCD-ROMより「SonicStageソフトウェア」をパソコンにインストールすると自動的にインストールされます。（15ページ）
転送できない	• 専用USB接続ケーブルがきちんと差し込まれていない → 専用USB接続ケーブルをいったん抜いて、差し直してください。 • 内蔵フラッシュメモリーの残り容量が不足している → 聞かなくなった曲をパソコンに戻して、空き容量を増やしてください。 • Sonic Stageを使って、内蔵フラッシュメモリーに401曲以上または401グループ以上転送しようとしている → 1つの内蔵フラッシュメモリーに転送できる曲数は、最大で400曲、グループは最大で400グループです。 • MP3 File Managerを使って、内蔵フラッシュメモリーに40,001曲以上または401グループ以上転送しようとしている → 1つの内蔵フラッシュメモリーに転送できる曲数は、最大で40,000曲、グループは最大で400グループです。（1つのグループ内の最大曲数は、100曲です。） • 再生期間や再生回数などの再生制限のついた曲は、著作権者の意向によりネットワークウォークマンに転送できないことがあります。それぞれの曲に関する設定内容については、配信者にお尋ねください。
転送できる曲数が少ない（録音できる時間が短い）	• ネットワークウォークマン内の空き容量が、転送しようとした曲の容量よりも少なくなっている → 聞かなくなった曲をパソコンに戻して、空き容量を増やしてください。 → 本機にはフラッシュメモリーが2つ内蔵されています。もう1つの内蔵フラッシュメモリーに転送してください。 • 内蔵フラッシュメモリーに音楽以外のデータが入っている → 内蔵フラッシュメモリー内に音楽以外のデータが入っている分、転送できる曲数は減ります。音楽以外のデータをパソコンに移動するなどして、使用できるデータの容量を増やしてください。

次ページへつづく

症状	原因／処置
パソコンに戻せない	● 転送したパソコンと異なるパソコンに曲を戻そうとしている → 転送元のパソコン以外には、曲を戻せません。 ● 転送元の曲を削除した → パソコン側の転送元の曲を削除した場合は、曲を戻せません。その曲がネットワークウォークマンでも不要の場合は削除してください。
接続中の動作が不安定	USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用している → 動作の保証はできません。付属の専用USB接続ケーブルのみで直接パソコンと接続してください。
パソコンと接続中にパソコンの画面に「機器・メディアの認証処理に失敗しました。」と表示される	パソコンとネットワークウォークマンが正しく接続されていない → SonicStageを終了し、付属の専用USB接続ケーブルでの接続を確認した後、再度SonicStageを起動して操作してください。

その他

症状	原因／処置
操作時の確認音が鳴らない	BEEPの設定が「OFF」になっている → メニューで「BEEP」を「ON」にしてください。（35ページ）
本体が温かくなる	使用中に本体が一時的に温かくなることがあります。

こんな表示が出たら

本体表示窓にエラー表示が出たら、下の表に従ってチェックしてみてください。

表示	意味	処置
ACCESS	内蔵フラッシュメモリーにアクセス中	アクセスが終わるまでお待ちください。内蔵フラッシュメモリーへデータを転送しているときやフォーマット（初期化）しているときに表示されます。
AVLS	AVLS設定時に、音量が規定値を超えている。	音量を下げるか、またはAVLS設定を解除してください。（32ページ）
CANNOT PLAY	• 本機では再生できないファイル形式である。 • 転送の途中で転送を強制中断した。	再生できないデータがある場合は、内蔵フラッシュメモリーから削除することができます。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（44ページ）をご覧ください。
CONNECT	本機がパソコンと接続されている。	エラーではありません。SonicStageまたはMP3 File Managerを使って曲を転送したり、戻したりできます。ただし、本機を操作することはできません。
ERROR	本機の異常が認識された。	本機をソニーサービス窓口にお持ちください。
EXPIRED	• 再生期限付きの音楽データを有効期限外に再生しようとしている。 • 再生期限付きの音楽データを再生しようとしているが、本機の時計設定がされていない。 • 本機で対応していない回数制限付きの音楽データを再生しようとしている。	• 時計設定をしていない場合は、本機のメニューで日時設定を行ってください。（31ページ） • 再生できないデータがある場合は、内蔵フラッシュメモリーから削除することができます。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（44ページ）をご覧ください。 • 本機は回数制限付きコンテンツに対応しておりません。詳しくは「回数制限付きの曲の再生について」（17ページ）をご覧ください。
FILE ERROR	• データを読み込めない。 • データが異常である。	「FILE ERROR」となった曲を削除してください。詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（44ページ）をご覧ください。

次ページへつづく

表示	意味	処置
HOLD	HOLDスイッチがONになっているため、本機の操作ができない。	本機の操作を行う場合は、HOLDスイッチをOFFにしてください。（29ページ）
LOW BATT	電池が消耗している。	電池を交換してください。（12ページ）
MEMORY FULL*	メモリーが一杯か、グループが一杯（400グループ）です。	曲の削除を行うか、グループの削除を行ってください。曲の入ってないグループも、1グループとしてカウントされます。空のグループの削除は、SonicStageから行ってください。
MG ERROR	著作権に対して不正なファイルを検出した。	まず、データをパソコンに戻してから、本機で内蔵フラッシュメモリーをフォーマット（初期化）してください。詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（44ページ）をご覧ください。
NO DATA	内蔵フラッシュメモリーに音楽データが入っていない。	音楽データが入っていない場合は、付属のSonicStageソフトウェアを使って音楽データを転送してください。

* このエラー表示は、1つの内蔵フラッシュメモリーがいっぱいになると表示されます。

内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには

「CANNOT PLAY」、「FILE ERROR」、「EXPIRED」、「MG ERROR」が表示された時は、内蔵フラッシュメモリーの一部または全てのデータに異常があります。

その場合は、以下の方法で再生できないデータを削除してください。

① ネットワークウォークマンをパソコンに接続し、SonicStageを起動させる。
② データの異常の原因がはっきり分かっている場合（再生期限の過ぎたデータ等）は、SonicStageで削除する。
③ それでも解決しない場合は、パソコンに接続した状態で、SonicStageを使い、パソコンに戻すことの可能な曲は全てパソコンに戻す。
④ パソコンからはずして、本機のFORMATメニューの操作で内蔵フラッシュメモリーをフォーマット（初期化）する。（37ページ）

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではポータブルICオーディオプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

最大録音時間
ATRAC3*
約16時間40分（132kbps）
約21時間（105kbps）
約33時間40分（66kbps）

ATRAC3Plus*
約8時間（256kbps）
約34時間20分（64kbps）
約46時間40分（48kbps）

MP3
約8時間（256kbps）
約16時間（128kbps）

* ATRAC3、ATRAC3plus形式の値は、内蔵フラッシュメモリーにMP3 File Managerがインストールされていない場合の数値になります。

サンプリング　44.1kHz
周波数特性

再生信号圧縮方式
アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング3（ATRAC3）、アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング3plus（ATRAC3plus）
MPEG 1オーディオレイヤー3（MP3）：8〜320kbps、可変ビットレート対応

周波数特性　20〜20,000Hz（再生時、単信号測定）

出力端子　ヘッドホン：ステレオミニジャック

S/N比　80dB以上（ATRAC3 66kbpsを除く）

ダイナミックレンジ
85dB以上（ATRAC3 66kbpsを除く）

動作温度　5〜35℃

電源　単4形アルカリ乾電池 1本

電池持続時間　ATRAC3形式の場合：約70時間（105kbps、連続再生時）
ATRAC3plus形式の場合：約60時間（48kbps再生時）
MP3形式の場合：約50時間（128kbps再生時）

最大外形寸法　56 x 37.3 x 15mm
（幅／高さ／奥行き、最大突起部を含まず）

質量　約40g（電池含まず）

付属品　ヘッドホン（1）
専用USB接続ケーブル（1）
キャリングポーチ（1）
ネックストラップ（1）
ヘッドホン延長コード（1）
単4形ソニーアルカリ乾電池（1）
CD-ROM（1）
取扱説明書（1）
ソフトウェアインストール・操作ガイド（1）
保証書（1）
カスタマーご登録のお願い（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語解説

マジックゲート
MagicGate

データの暗号化と、相互認証の2つの技術により著作権を保護する技術。デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぎます。マジックゲート対応機器とメディアの両方にマジックゲートが搭載されている場合のみ働きます。
マジックゲート対応機器とメディアの間で、お互いに「マジックゲートに対応しているか」を確認（認証）し、確認できた場合のみデータを記録できます。データは記録時に暗号化されます。記録されたデータを再生するときも同様に、マジックゲート対応機器とメディアが相互に確認し、確認された場合のみ再生できます。

ご注意

MAGICGATE は、ソニーが考案する著作権保護の仕組みを表す名称であり、各種メディア間の互換性を保証するものではありません。

オープンエムジー
OpenMG

音楽配信サービスや音楽CDのコンテンツをパソコンに取り込んで管理するための著作権保護技術です。パソコンにインストールしたOpenMG対応ソフトウェアで、音楽コンテンツをハードディスクに暗号化して記録し、そのパソコン上での音楽の再生を楽しむことができる一方、インターネットなどへの不正な配信を防止します。また、「マジックゲート」に対応しているので、「マジックゲート」搭載の端末として認証された機器およびメディアにコンテンツの記録が可能です。

アトラックスリー
ATRAC3

「Adaptive Transform Acoustic Coding3」の略。高音質と高圧縮を両立させたオーディオ圧縮技術です。音声データをCDの約1/10に圧縮可能で、メディア容量の小型化が可能です。

アトラックスリープラス
ATRAC3plus

「Adaptive Transform Acoustic Coding3plus」の略で、ATRAC3よりも高い圧縮率で、ATRAC3と同程度あるいは更に高い音質を実現した新しいオーディオ圧縮技術です。

次ページへつづく

ビットレート

1秒あたりの、情報量を表わす数字のことです。単位はbps（bit per second）。読みかたは、「ビーピーエス」です。例えば、64kbpsは、1秒間に64000bitの情報を持っているということを表わします。この数字が大きい程、音楽を再現するために多くの情報を持っているということになるため、同じ符号化方式（ATRAC3plusなど）の比較では、一般的に48kbpsよりも64kbpsの方が良い音で楽しめるということになります。（ATRAC3、MP3等、他の符号化方式の音とは単純な比較はできません。）

MP3

「MPEG-1 Audio Layer3」の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループであるMPEGで定めた音声圧縮の規格です。
音声データをCDの約1/10に圧縮できます。符号化アルゴリズムが公開されているので、さまざまなエンコーダ／デコーダが存在しており、広く普及しています。

メニュー一覧

MENUボタンを押してメニューモードに入り、 シャトルスイッチ（回す：選択／押す：決定）で本体の設定を変えます。

詳しくは（ ）内のページをご覧ください。 「>」のある表示は、シャトルスイッチで決定後、次の操作画面が現れます。

液晶の表示（メニューモード）	設定内容
REPEAT MODE ＞	お好みに合わせてリピートモードが選べます。（21ページ）
DISPLAY ＞（表示モード）	お好みに合わせて表示モードの切り換えができます。（26ページ）
VOL：（プリセットボリューム）	あらかじめお好みの音量を設定できます。（33ページ）
SOUND ＞（デジタルサウンドプリセット）	あらかじめお好みの音質を設定できます。（27ページ）
AVLS：（音量リミットの設定）	快適な音量レベルに設定できます。（32ページ）
BEEP：（確認音の設定）	「ON」または「OFF」に設定できます。（35ページ）
LIGHT：（液晶バックライトの点灯のしかた）	「OFF」：常に消灯 「ON」：ボタン操作後3秒間点灯（36ページ）

液晶の表示（メニューモード）	設定内容
DATE-TIME（現在時刻の設定）	年月日表示／12時間時計表示ができます。（31ページ）
PC CLK：（パソコンの内蔵時計に合わせる）	パソコンの内蔵時計に本体の時計を合わせることができます。（30ページ）
FORMAT ＞（メモリーの初期化）	本機内蔵のフラッシュメモリーのメモリーを初期化できます。（37ページ）
[RETURN]	[RETURN] を選び、►■（再生／停止）ボタンを押して決定すると、通常画面に戻ります。

MP3 File Managerを使ってこんなことができます

SonicStageソフトウェアでは、MP3形式の音楽データを本機に転送するときに、ATRAC3plus形式に変換します。これに対し、MP3 File Managerソフトウェアは、MP3形式の音楽データを変換することなく、そのままの形式で本機に転送することができます。

はじめに、本機をパソコンに接続した状態で、付属のCD-ROMから本機にMP3 File Managerをインストールしてください。（詳しくは「MP3 File Managerをインストールする」（51ページ）をご覧ください。）
ただしMP3 File Managerをインストールする前に、付属のCD-ROMに入っているSonicStageをパソコンにインストールしておく必要があります。
SonicStageをインストールしておかないと、本機をパソコンにつないでも、パソコンで本機が認識されません。

パソコンに必要なシステム構成

- OS：
  Windows XP Media Center Edition 2005
  Windows XP Media Center Edition 2004
  Windows XP Professional
  Windows XP Home Edition
  Windows 2000 Professional
  Windows Millennium Edition
  Windows 98 Second Edition
- CPU：Pentium Ⅱ 400MHz 以上
- RAM：64MB以上
- ハードディスクドライブの空き容量：5MB 以上
- ディスプレイ： High Color（16 ビット）以上、800 × 600 ドット以上
- USB 端子

サポート言語について

MP3 File Manager上で表示できる言語は、パソコンにインストールされているOSによって異なります。お使いのパソコンのOSが、表示したい言語に対応しているかどうかをご確認ください。

－言語によっては、MP3 File Manager上で正しく表示できない場合があります。
－ユーザー定義の文字や特殊な記号は表示されない場合があります。

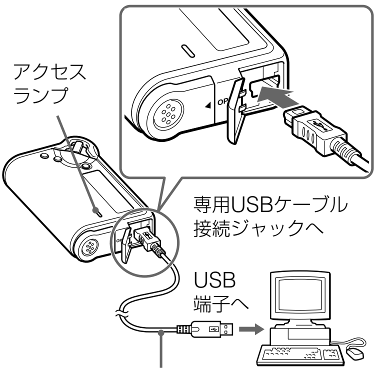
MP3 File Managerをインストールする

ご注意

下記の手順を始める前に、必ず付属のCD-ROMからSonicStageをパソコンにインストールしてください。

1 ネットワークウォークマンをパソコンに接続する。

付属の専用USB接続ケーブルの小さいほうのコネクタ部分を本機の専用USBケーブル接続ジャックに、大きいほうのコネクタ部分をパソコンのUSB端子に差し込みます。本機の表示窓に「CONNECT」と表示されます。



2 パソコンのCD-ROMドライブに付属のCD-ROMを挿入する。

3 Windowsのエクスプローラで CD-ROMを開き、[MP3FileManager]フォルダをダブルクリックする。

4 [Japanese]フォルダをダブルクリックする。

5 実行ファイル [MP3FileManager_1.2_Update_JPN.exe]をダブルクリックする。

インストールが始まります。
以降、指示に従ってインストールしてください。

ヒント

初期化（FORMAT）などによって、MP3 File Managerを誤って消去してしまった場合も、上記の手順に従い付属のCD-ROMから再インストールしてください。

MP3形式の音楽データをネットワークウォークマンに転送する

1 **ネットワークウォークマンをパソコンに接続する。**
接続について詳しくは、51ページの手順1をご覧ください。

2 **デスクトップ画面上の［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックする。**
Windows XPの場合は、デスクトップ画面左下の［スタート］をクリックして表示される画面から［マイ コンピュータ］をクリックする。

3 **「マイ コンピュータ」画面内の[リムーバブルディスク：　]アイコンのうち、ドライブ文字（アルファベット）の順番が早い方をダブルクリックする。**

4 **「リムーバブルディスク：」画面内の[Esys]フォルダをダブルクリックする。**

5 **実行ファイル[MP3FileManager.exe]をダブルクリックする。**
MP3 File Managerの画面が表示されます。



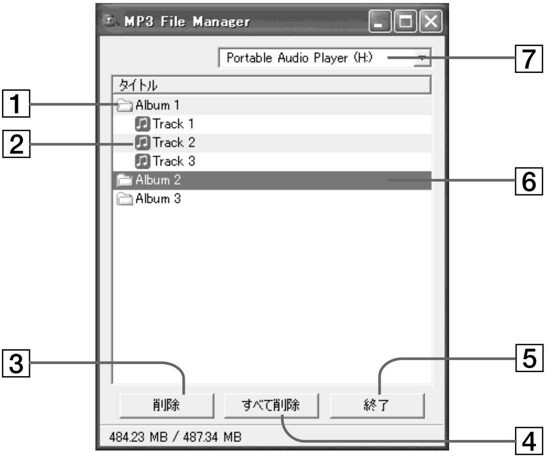
6 **MP3 File Manager画面右上の転送先リストから、転送先の内蔵フラッシュメモリーを選ぶ。**

7 **転送したいMP3形式の音楽データを選び、MP3 File Manager画面にドラッグする。**
フォルダごとドラッグすることもできます。

ご注意

- MP3 File Managerの起動中は、USBケーブルを抜かないでください。その場合は、動作を保証できません。
- 本機とパソコンのデータ転送中はアクセスランプが点滅します。
- アクセスランプの点滅中はUSBケーブルを抜かないでください。転送中のデータが破壊されることがあります。
- MP3 File Managerの起動中は、パソコンを休止状態やスタンバイ状態にしないでください。
- Windows 2000をお使いの場合は、Service Pack3をインストールしてください。
- 本機では、ID3タグの情報が優先的に表示されます。（ID3タグとは、MP3形式の音楽データに曲名やアーティスト名などの情報を付加するための規格です。本機で対応しているID3タグのバージョンは、1.0/1.1/2.2/2.3/2.4です。）
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしかねます。必ず、付属の専用USB接続ケーブルで接続してください。
- 同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- パソコンに接続しているときは、本体の操作はできません。
- パソコンに接続しているときは、内蔵フラッシュメモリーの内容がWindowsのエクスプローラでも表示できます。
- MP3 File Managerでは、サンプリング周波数44.1Hz、ビットレート8～320kbps のMP3形式の音楽データに対応しています。

MP3 File Managerの画面



1 **アルバムリスト**
ダブルクリックすると、アルバム内の曲が一覧で表示されます。もう一度ダブルクリックすると、曲の一覧(曲リスト)が非表示になります。

2 **曲リスト**

3 

選択したアルバムや曲を削除します。

4 

すべてのアルバムや曲を削除します。

5 

MP3 File Managerを終了します。

6 **選択されているアルバムまたは曲**
アルバムや曲を選択すると、青く反転します。CtrlキーまたはShiftキーを押しながらアルバムまたは曲をクリックすると、同時に複数の項目を選択できます。

7 **転送先リスト**
音楽データを転送する内蔵フラッシュメモリーを選びます。

ご注意

SonicStageを使って、本機に取り込んだ音楽データは、MP3 File Manager画面上には表示されません。また、MP3 File Managerを使って、取り込んだ音楽データは、SonicStage画面上には表示されません。

音楽データを削除する

内蔵フラッシュメモリー内のアルバムまたは曲を削除できます。



1 MP3 File Manager画面を開く。

2 内蔵フラッシュメモリーを選ぶ。

3 削除したい曲またはアルバムを選ぶ。

4 画面上の 削除 ボタンをクリックする。

ヒント

Ctrlキーまたは Shiftキーを押しながらアルバムまたは曲をクリックすると、同時に複数の項目を選択できます（ただし、アルバムと曲の組み合わせで複数選択することはできません）。

音楽データの順序を入れ替える

内蔵フラッシュメモリー内のアルバムまたは曲の順序を入れ替えることができます。



1 MP3 File Manager画面を開く。

2 内蔵フラッシュメモリーを選ぶ。

3 順序を入れ替えたいアルバムまたは曲を選ぶ。

4 選択したアルバムまたは曲を移動先にドラッグする。

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ラ行

アルファベット順

A、B、C

D、E、F、G、H、L、M

O、P、R、S

U、V、W

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ パーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ**
  (http://www.sony.co.jp/support-pa/)
  ネットワークウォークマンに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。
- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ お客様ご相談センターへ(下記電話・FAX番号)**
  - 本機の商品カテゴリーは[オーディオ]−[ウォークマン]です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
    ◆ セット本体に関するご質問時:
      - 型名:
      - ご相談内容:できるだけ詳しく
      - お買い上げ年月日

    ◆ 付属のソフトウェアに関連するご質問時:
    質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、「必要な環境を準備する」(別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」)を事前にわかる範囲で、ご確認いただき、お知らせください。

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル ………… 0570-00-3311
(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311
(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)

● FAX ……………………… 0466-31-2595

受付時間 :月〜金 9:00〜20:00　土・日・祝日 9:00〜17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

Printed in China